

目標達成計画

作成日: 平成25年 5月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	特定のご家族の参加から家族会開催時のヒアリングで、輪番参加での全家族参加が得られるようになった。そのことからご家族の『思い』を知っていただけるようになってきた。しかし、定例の推進会議自体をもっと活かす事が課題。	ホームの運営や行事など報告だけに留まらず双方向での情報交換が出来る様な会の運営を目指す。また情報の共有と社会資源の発掘など、参加委員や家族からの情報提供が集まる会の運営に心がける。	地域から参加の委員から情報提供があれば、地区内行事の日程等の確認と参加可能ならば事前交渉を行えるように委員に仲介依頼する。また参加家族や委員からの要望に応えられる体制作りを行う。	6 ヶ月
2	33	ご利用の期間も長くなり入居者の重症化も進んできており、車椅子の使用状況もかなりの割合を占めています。それに伴い、認知症介護のみならず身体介護の知識も必要となってきた。	家族との今後の方向性検討もさることながら、今の必要とされる基本的な身体介護知識や技術の修得が職員に求められる。関連研修参加で基礎知識の習得とレベルアップが必要。	介護実技に関する基礎研修の案内などから参加可能な研修をリストアップし、研修参加出来るように勤務調整等を行う。また学びを会議などで復命し情報の共有化を図る。	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。